

タキストロン GL（学校・屋内施設 踊り場・廊下用）施工方法

1. 下地の清掃

- 砂・塵埃などを除去してください。

2. 接着剤の選定

- 下地に適した接着剤を使用してください。

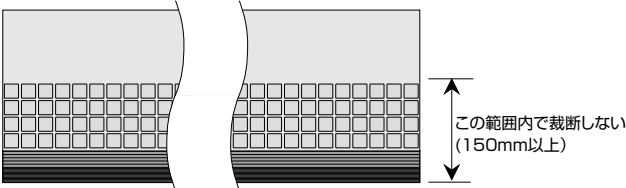
※1 タキボンドE-30はタキステップ8Lには使用できません。

※2 タキボンド#607を使用する場合は換気を行い、引渡しまでに数日、期間を設ける等の配慮をしてください。

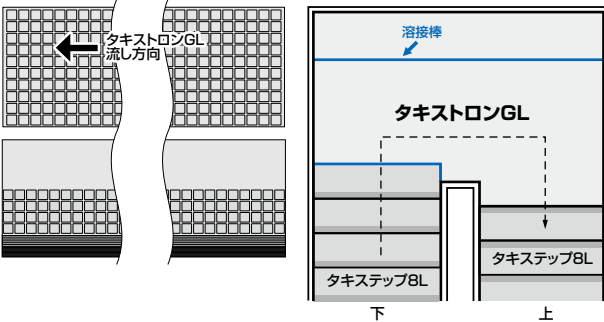
工法	用途	接着剤	継目処理材
一般工法	湿気の恐れのない 吸水性のある下地 (モルタル下地など)	タキボンドE30*1 タキボンドEX-1 タキボンド#607*2	床溶接棒
耐水工法	接地層などの 湿気の恐れのある下地 塗り床などの 非吸水性の下地	タキボンドEX-1 タキボンド#607*2	床溶接棒

3. 割り付け・仮敷き

- タキステップ8L最上段の奥行きは、エンボスより段鼻側で裁断しないでください。
- 踏み面が短いと、接着剤硬化までの歩行により、タキステップ8Lのスレ、脱落の恐れがあります。

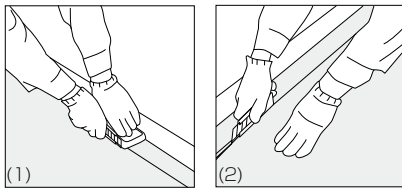


- 階段の中方向と平行になるように、また出来るだけ柄合わせを行いながら、タキストロンGLを敷き延ばしてください。
- 継目は柄模様の目地部で行うのが基本です。
- タキストロンGLの流し方向に注意してください。
- タキステップ8LやタキストロンGLは、継目部の柄をできるだけ合わせてください。



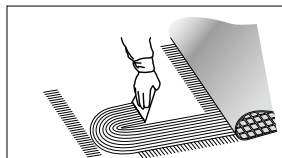
4 壁際の裁断

- (1) 壁際・柱などの裁断は、巾定規・パースクライバーなどを用いてけがきます。
- (2) そして、けがき線に沿って裏面をアンダーカットしながら裁断してください。



5. 接着剤の塗布準備

- 下地に接着剤を塗布するため、タキストロンGLの半分(巾方向)をすれないように折り返してください。



6. 接着剤の塗布

- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。

標準塗布量	モルタル下地:300~400g/m ²
(EX-1, E30, #607)	非吸水性下地:250~350g/m ²

- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。
- タキボンドEX-1を使用する場合は、開封の際、袋の角の部分を持ち、大きく開封しないようにしてください。

7. オープンタイム

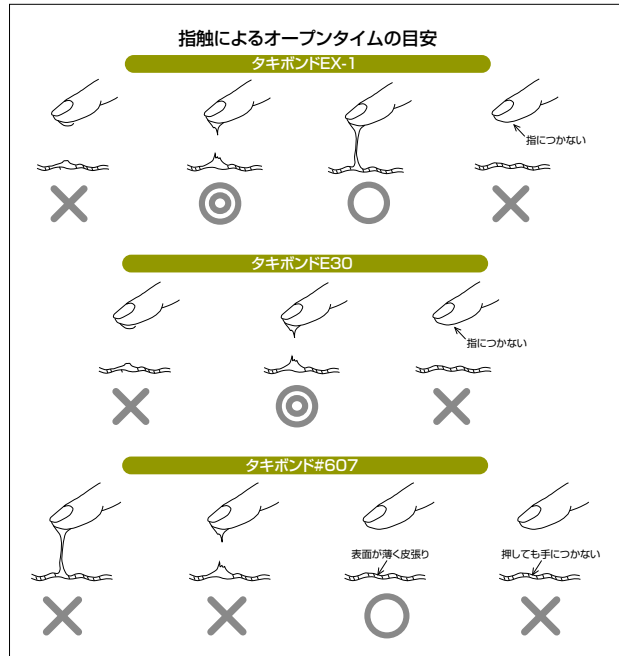
- 接着剤を塗布した後オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。
- オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。

タキボンドEX-1を使用する場合は、以下の点に注意が必要です。

- 高温や多湿の場合等、接着剤の初期強度が急激に立ち上がる場合がありますので、施工当初は狭い面積でオープンタイムの確認を行ってください。

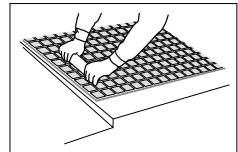
オープンタイムの目安(20°C)

接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンドEX-1	10~20分	30~40分
タキボンドE30	10~20分	30~40分



8. 張り付け・エア抜き

- シートにシワを生じさせないように、中央部から丁寧にシートを張り付けてください。
- シート張り付け後、しごき圧着でエア抜きを十分に行った後、床ローラーで圧着してください。



9. 圧着

- 壁際及び継目部をハンドローラーやコーナーローラーで十分に圧着してください。

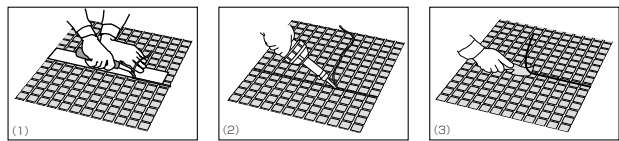
10. 継目処理

- (1) 接着剤が完全に硬化してから清切り機等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。
- (2) 熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。

溶接条件の目安

設定	アナログ	6~7
	デジタル	400~500°C
スピード	1~2m/分	

- (3) タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部をスパトラナイフ等で平滑に仕上げてください。



11. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

12. 養生

重量物の運搬はベニヤ板等で養生してください。